

■日時 平成26年8月20日(水) ■天候 晴れ

宮崎県立宮崎東高校・通 対 長崎県立長崎工業高校

■球場 府中市民球場 第3試合 2回戦

■試合時間 3時間09分 ■備考

■審判 球審:石島 塁審:原田 嶋田 石塚

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
長崎工	西九州・長崎	2	1	2	1	0	2	1	3	5	17	12	7
宮崎東・通	東九州・宮崎	3	4	0	0	1	0	3	0	1	12	8	8

長崎工		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	三		鈴田 滝	5	2	5	3	右安	中安		中安		遊安		二安	四球			
2	左		平瀬 海 憧	4	2	0	0	三振		死球	投飛		三振		投失	死球			
3	捕		米田 武里	4	2	0	1	一ゴ		四球	二ゴ		投ゴ		死球	一失			
4	投	遊	野田 雅	4	3	2	1	中3		中安		四球	二ゴ		三ゴ	四球			
5	遊	投	坪口 直樹	4	2	3	5	右安		左2		遊ゴ		四球	四球	中安			
6	二		花井 拓己	3	1	0	0	三振		四球		三飛		投犠	三振	死球			
7	一		野原 龍之介	4	1	0	1		四球	遊飛		三振		一邪	死球	遊失			
8	右		高銓 司	3	2	2	0		三振		右2		投安						
8		右	宮本 桂太郎	3	0	0	0							三振	三ゴ	投ゴ			
9	中		横山 輝 弥	3	2	0	0		三振		三振		四球		三失	四球			
合計				37	17	12	11	残塁:9		併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手
野田 雅
坪口 直樹

捕手
米田 武里

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
野田 雅	1 1/3	10	2	1	4	5
坪口 直樹	7 2/3	36	6	8	2	0

宮崎東・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
1	三	遊	古江 匡 宏	4	2	0	0	死球	死球		一ゴ		左飛	二ゴ		遊飛			
2	遊	投	平川 隆 平	5	1	0	0	三ゴ	遊ゴ		三邪		遊ゴ		二ゴ				
3	投	捕	安田 萌 征	4	1	1	2	四球	右安		三振			三ゴ	左飛				
4	捕	投	加藤 楓 磨	3	3	1	1	右3	三振			死球		四球	三振				
5	中		川下 竜 平	5	2	3	0	投ゴ	三振			一安		右2		左安			
6	一		花盛 貴 大	5	1	0	0	右飛		一ゴ		右失		振逃		投失			
7	二		荒武 優 香	0	0	0	0		四球										
7	走	二	新井 拓 海	4	1	0	0			二ゴ		左飛		三ゴ		三振			
8	右		鴻野 央 行	4	0	0	0		三振	二ゴ		中飛		遊失					
8	打		松本 卓 磨	1	0	0	0									三振			
9	左		新原 正 己	5	1	3	0		左安		中安		左飛	中安		振逃			
合計				40	12	8	3	残塁:7		併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手
安田 萌 征
加藤 楓 磨
平川 隆 平

捕手
加藤 楓 磨
安田 萌 征

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
安田 萌 征	6	31	10	7	6	7
加藤 楓 磨	2	13	1	2	4	0
平川 隆 平	1	9	1	0	5	4

■戦評

2回戦府中球場の第3試合は1回戦をサヨナラで制した宮崎東高校通信制と2年連続3回目出場の西九州地区代表・長崎県立長崎工業高校という九州勢同士の対戦となった。試合は序盤から激しい点の取り合いとなった。初回2点を先制された宮崎東はその裏4番加藤の適時三塁打などで3点を上げ試合をひっくり返す。2回には1点を奪われ同点とされたが3番安田の2点適時安打などで4点を勝ち越すと5回にも1点を追加し試合を優位に進める。追いつきたい長崎工業は3回に2点4回に1点を返すと6回には暴投と1番鈴田の適時内野安打で同点に追いつく。続く7回には敵失で1点を奪いついに逆転に成功する。粘る宮崎東もその裏相手の守備の乱れを見逃さず3点を取り11-9と再びリードを奪う。あきらめない長崎工業は8回宮崎東の2番手加藤から三つの押出四死球を選び12-11と三たび試合をひっくり返すと、9回には打者一巡の攻撃で5点を奪い試合を決めた。2回一死から救援した2番手坪口が被安打6自責点0に抑える粘投を見せた長崎工業が17-12で勝利しベスト8に進出した。一方宮崎東は昨日の試合の疲れからか3投手が計15四死球と踏ん張りきれず惜しくも敗れた。